

令和6年6月27日

熊本大学生命資源研究・支援センター テニュアトラック教員（准教授、講師又は助教）
（女性限定）の公募

今回、熊本大学生命資源研究・支援センターにおいて卓越的な研究を展開する、意欲のある研究者を募集します。

熊本大学では、若手研究者が自立して研究することができる環境を整備、研究リーダーとなる教員・研究者へと育成することを目的に、テニュアトラック制という公正で透明性の高い人事制度を構築しています。この制度では、挑戦的かつ独創的な研究発想を得た若手研究者が、その発想を展開するべく自由に研究を行える環境を用意、実績のみならず、研究提案を評価して研究者（テニュアトラック教員）を公募により採用し、共通機器や技術的支援などを重点配分して養成し、テニュア審査を実施します。

生命資源研究・支援センターは、遺伝子改変マウスの作製、表現型解析、保存、供給、データベースの構築に関連した研究開発とその技術支援を推進する目的で設立され、遺伝子改変マウスに関する全てを扱うワンストップショップとして活動しています。

今回、バイオインフォマティクス、実験動物学、発生工学、発生生物学の分野において、マウスやラットを用いたデータ駆動型解析研究をドライとウェット両面からのアプローチで推進できる人材を募集します。ウェット面では、遺伝子改変動物の表現型や発現の解析技術開発や大規模データ収集など、ドライ面では、公共ビッグデータの統合・横断的解析や機械学習・プログラミングなど、データサイエンス分野において幅広いアプローチができる女性研究者を公募します。

なお、本センターは発生医学研究所や国際先端医学研究機構、大学院生命科学研究部と連携協力して、分子生物学分野における様々な解析を推進するための共有機器や実験室、研究開発・技術支援の環境は十分に整っています。

公募の内容は以下のとおりです。

1. 募集職名、人員

テニュアトラック教員・准教授、講師又は助教 1名（女性限定）

2. 所属

熊本大学生命資源研究・支援センター

3. 専門分野

専門分野	キーワード
生命科学研究	バイオインフォマティクス、実験動物学、発生工学、発生生物学、オミクス研究、ビッグデータの情報解析

4. 応募資格

- (1) 博士の学位を有する研究者
- (2) 生命科学研究分野において、優れた研究能力及び研究業績を有すること
- (3) 本学における教育・研究に熱意を持って取り組める方
- (4) 本学の運営等に協力的かつ積極的に参画できる方

5. 着任時期

採用決定後、できるだけ早い時期（ご相談に応じます。）

6. 労働条件等

- ・職務内容 : (雇入れ直後) 准教授、講師又は助教としての業務に従事する
(変更の範囲) 熊本大学の定める業務
- ・勤務形態 : 同意に基づく専門業務型裁量労働制
勤務時間は、職員の裁量に委ねるものとし、1日の勤務時間は7時間45分とみなす。
- ・任期の定め : 有 (下記「7. 任期」を参照)
- ・試用期間 : 6か月
- ・勤務場所 : (雇入れ直後) 熊本大学本荘キャンパス中地区
(変更の範囲) 熊本大学の定める範囲
- ・時間外労働 : 時間外、深夜、休日労働の有無 有
- ・賃金等 : 給与の額等は、国立大学法人熊本大学2号年俸制適用職員給与規則に定めるところによる。
- ・諸手当 : 住居手当、通勤手当の他、本学の定めるところによる。
- ・社会保険 : 文部科学省共済組合、雇用保険及び労災保険に加入
- ・雇用者 : 国立大学法人熊本大学

7. 任期

採用後5年間(採用後、3年経過後に中間評価を行います)

※1 概ね採用4年3ヶ月経過後のテニユア審査を経て、テニユア審査に合格した後は、テニユア(准教授、講師又は助教)を付与します。テニユア審査は、次の審査基準に基づき行います。

- (1) 研究活動
- (2) 支援活動
- (3) 教育活動
- (4) 研究業績
- (5) 学術及び社会活動(併任、学会、学術誌、各種委員会等)
- (6) 研究費獲得状況
- (7) その他評価を行うために適切な業績

※2 テニユア審査では、4段階の審査を行います。

「A」の評価の場合、テニユア教員(任期なし)で再採用します。

「B」～「D」の評価の場合、再採用を行いません。

※3 採用後、出産・育児・介護等の長期休暇を取得した場合や、天変事変により長期間研究の遂行に支障がある場合は、当該休暇等の期間に相当する期間の範囲内において、テニユアトラック期間を更新することができます。ただし、本学での通算雇用期間は10年を超えることはできません。

8. 研究費・研究環境等

- (1) 採用された年度から5年度間、100万円/年度の研究費を支援します。
- (2) 研究の支援等を行うメンターとして、生命資源研究・支援センター教授を充てます。
- (3) 遺伝子改変マウス作製、マウス系統の保存、体外受精による効率的なマウス繁殖に関し、メンターの生命資源研究・支援センター教授と相談の上、共同研究としてこれらの技術支援を受けることができます。
- (4) 生命資源研究・支援センターの熊本マウスクリニック(KMC)の研究機器使用料について、

優遇措置を講じます。

(5) 大学院生の教育に参画し、教育活動を行うことができます。

9. 応募書類

- | | |
|---|----|
| (1) 推薦書 | 1部 |
| (2) 履歴書 | 1部 |
| ・メールアドレス及び連絡先をご記入ください。 | |
| ・出産、育児、介護に専念又は従事した期間について考慮を希望される場合は、付記してください。 | |
| (3) 業績目録 | 1部 |
| (4) 主要研究論文目録（総説を含む） | 1部 |
| ・最近5カ年の原著論文を中心に、主要論文10編以内の別刷及び各論文250字前後の要旨を添付のこと。（コピーでも可） | |
| (5) 研究・教育に関する業績の概要（A4 1-2枚程度） | 1部 |
| ・各項目に分けて明確に記載すること。 | |
| (6) 研究に対する抱負（A4 2-3枚程度） | 1部 |
| ・特に今後展開する研究について、その意義、目的、計画及び学術的特色について記述してください。 | |
| (7) 申告書 | 1部 |
- ※（2）～（7）の書類は、以下のホームページからダウンロードできます。
- ・熊本大学ホームページ <https://www.kumamoto-u.ac.jp/daigakujouhou/saiyou/index>
 - ・熊本大学生命資源研究・支援センターホームページ <http://irda.kuma-u.jp/index.html>

10. 応募期限

令和6年9月30日（月）17:00（必着）

11. 書類提出方法

- ・応募者は「9. 応募書類」に記載の提出書類（2）～（6）の電子媒体（それぞれPDFファイル・MS-Wordファイルの2種類）を送付してください。
- ・（1）推薦書は、推薦者から書類提出先へ直接メールにて提出してください。
- ・メールの件名は、「IRDA教員公募書類の提出」としてください。
- ・送付容量上限は20MBまでとなっていますので、ご注意ください。ファイルサイズの合計が20MBを超える場合は、事前にメールにてお知らせください。提出用のURLをお送りします。
- ・提出書類を受領後、本件事務担当者から必ず受信確認のメールを返信しますので、3営業日以内に返信がない場合は、お手数ですが下記「12. 書類提出先・問合せ先」に記載の電話番号にご連絡ください。

12. 書類提出先、問合せ先

〒860-0811

熊本市中央区本荘2丁目2番1号

国立大学法人熊本大学生命科学先端研究事務課 センター事務チーム総務担当

TEL：096-373-6636 E-mail：iys-senter-2@jim.kumamoto-u.ac.jp

13. 選考方法

第一次選考 書類審査

第二次選考 セミナー及び質疑応答

(旅費等の経費は本学の規定に基づき大学が負担)

※第二次選考については、オンライン上で実施する場合があります。

14. 備考

- (1) 応募書類に含まれる個人情報、国立大学法人熊本大学の定めに基づき、本人事選考にのみ使用し、他の目的には一切使用しません。
- (2) 業績の評価に当たっては、産前産後休暇、育児・介護休業及び育児・介護のための短時間勤務の期間について、応募者が不利にならないよう考慮します。
- (3) 本公募は、雇用の分野における男女の均等な機会及び待遇の確保等に関する法律第 8 条の規定により女性教員の割合が相当程度少ない現状を積極的に改善するための措置として、女性に限定した公募を行うものです。
- (4) 熊本大学は、ダイバーシティを推進しています。熊本大学における子育て支援や男女共同参画の取り組みについては、以下の URL をご覧ください。
http://diversity.kumamoto-u.ac.jp/activities/kihon_keikaku.html